

昭和区彩りごと

区長が聞く！

松栄学区
松栄学区まちづくり協議会

8,934世帯
17,453人
令和2年11月1日現在

いろいろ
聞かせて
ください！



舟橋 洋一 昭和区長

区長が昭区内の学区を巡り、街の魅力を伝えます。

人口、面積ともに区内最大で、41の町内会を有する松栄学区。区政協力委員会や社会福祉協議会等との連携が活発で、スポーツフェスティバル、もちつき大会、避難所運営と3大事業を中心に年間を通じて幅広い世代が交流しています。



学区に暮らす人が主体となって
より住みよいまちづくりを

区長／人口、面積の大きな松栄学区ですが、幅広い年齢層はどのように連携を図っているのでしょうか。
原田会長／多くの人が暮らしながら学区にまとまりがあるのは、まちづくり協議会にさまざまな世代が参加しているのが大きな要因です。各種団体は元より、PTAも参加してくれるため、常に若い世代もつながっています。先輩方の経験と知恵を礎に若いリーダーの力も非常に大きいですね。

土田副会長／元気なシニアも非常に多いです。4カ所の高齢者サロンや、女性会・老人クラブも様々なクラブ活動をしていますし、民生委員協力の体操を中心にしたサロンも2カ所あります。毎年のスポーツフェスには1000人以上が集まり、老人クラブ対子どもたちの玉入れでは、元気いっぱいしのシニアが勝つことがほとんど。世代を交えた8人でのリレーも真剣勝負ですよ。



(左から) 土田志帆理副会長、高木伸喜副会長、原田由美会長、区長

高木副会長／スポーツフェスは天候の問題もあり大変ですが、運営側も楽しみながら準備しています。多くの人が参加してくれるので、やりがいがあります。
区長／子ども大人も一緒になって楽しめるのがいいですね。
高木副会長／もちつき大会も年代問わず大勢の方が運営に携わってくれます。200キロのもち米を5つの臼でつくのは、若い男性たちの力の見せどころ。皆、フル回転でふるまっていますが、ありがたいことに毎年長蛇の列です。

区長／先日は避難所運営組織のみなさんで、実際にコロナ禍での避難所を体験したそうですね。
原田会長／これまでのように多くの人が避難所に集まることはできません。人権と尊厳を考慮した「スフィア基準」を参考に検討しています。マンションが増え人口が増え続けているエリアですので、自主防災組織の強化が課題です。何をするにも、地域から「こうしたい」という発信があるので、みんなで考えているいろいろなことを進めています。これが学区の絆を強めていると感じています。



幅広い年齢層が毎年楽しみにしているスポーツフェス